

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス「ぼけっと」				公表日	令和7年1月14日
環境・体制整備	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	1	遊びや活動によって場所を分けて対応しています。	利用定員に対するスペースは適切と思われませんが、個別スペースが少ないため対応が難しい場合があります。	
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		国が定めた人員配置基準に沿って職員を配置しています。利用者の来所時間に合わせて職員配置をしています。			
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		個別の空間が必要な利用者に対してはパーテーションで区切り構造化しています。	完全個室化は難しいため、配慮が必要な児童の活動場所の検討が必要だと感じます。		
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		毎日の掃除、換気・消毒を行い清潔を保っている。また、活動に合わせて空間を区切ったり、広く使うことができます。			
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		個々の特性に配慮し個室の提供をしています。	使用できる個室が一つしかないため、児童の特性によっては部屋を譲り合うなどして対応しています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8		事業所会議で情報の周知と共有を図っています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		年に1回保護者様への事業所評価アンケートを実施しています。結果を公表し、改善が必要と思われる点について具体的な取り組みを保護者様に向けて示しています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		コミュニケーションが円滑に図られ意見を言いやすい環境であると感じます。会議の事前資料の配布を行い、意見等の共有をおこなっています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	3	第三者評価は実施していません。外部の方の見学や視察を受けて環境整備等を行っています。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		職場研修（月1）、オンライン研修（随時）、伝達研修、その他、職員の希望に応じた研修参加をおこなっています。	調整が難しく、希望する研修が受けられないことがあります。情報収集を行い興味関心のある研修への参加の機会を確保していきたいと思います。	
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		支援プログラムをHPにて公開しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		職員で話し合いながらアセスメントやニーズの分析を行い計画を作成しています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		引き継ぎや会議等でこどもの様子について共通理解を図り、必要な支援を検討する場を設けています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		モニタリング後の会議資料にて、個別支援計画の共有を行っています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	2	職員の意見を聞き取りながらアセスメントシートの作成をおこなっています。	職員が共通して使用できるアセスメントツールがあればより様々な視点でのアセスメントが可能ではないかと思われます。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		事務室に放課後等デイサービスガイドラインを設置し、いつでも目を通せるようにしています。また、事業所会議でも5領域についての説明をし共通認識を図りました。	これまで培った知識の他に、新たに加わったガイドラインの内容についての理解と習得が必要と思われます。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		事業所会議にて、活動内容について話し合い確認した後に実施をしています。	5領域との結び付きや活動の根拠に係る理解がこれまで以上に図れるよう情報共有が必要だと思われます。	

支 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		月間の活動計画に従って活動していますが、天候や利用人数に合わせ臨機応変に活動を行っています。 曜日が固定しないように活動内容を計画しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8		個々の特性に応じて、活動を組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		支援前に引継ぎと打ち合わせを行い、当日の支援についての情報共有を行い支援にあたっています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		毎日終礼を行い、その日の利用者全員の様子等の振り返りや情報共有の場を設けています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		支援記録の他、必要に応じて発作記録や不穏時の記録を行っています。	記録方法や内容について職員が共通した認識をもち記録ができるよう周知をしていきたいと思っています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しし必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		6ヶ月に1度モニタリングを実施しています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	8		動作の習得につながる多様な経験、主体的な活動等を意識し、基本活動を組み合わせ合わせて支援を行っています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8		おやつ選択の他、休日の買い物体験や活動時に自己選択できる場面の提供を行っています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		主に児童発達支援管理責任者が参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		学校・関係機関とのケース会議を開き情報共有する機会が増えました。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8		学校からのお便りの配布を受け、下校時刻の変更や行事の把握に努めています。学校と放課後デイサービスの連絡会を実施しています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	1	利用前に通園している保育園等に見学に行き、情報共有できるよう対応しています。また、利用前にサービス担当者会議を実施しています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8		求められた場合、保護者に了承を得て提供しています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	1	滝沢市に児童発達支援センターは設置されていませんが、近隣市町村の児童発達支援センターからの情報を得る機会があれば研修参加を行える環境となっています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	6	コロナ禍のため地域のこどもと活動する機会はほとんどありませんでした。外出などの機会を通して地域の方との関わる機会も増えてきました。	どのような工夫や活動であれば地域の他のこどもと交流する場が図れるのかを検討していきたいと思っています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8		開催に合わせて出席をしています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		連絡帳や送迎時にその日の様子を丁寧に伝えています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	1	外部研修の情報提供等を行っています。また、ご家族様からの相談については随時受付、対応を行っています。	積極的な情報提供を継続していきます。ご家族様からの相談についても今後も継続して対応していきます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		運営規定は玄関先に掲示、支援プログラムはホームページに公開しています。利用者負担等は契約時やモニタリング時、更新時に説明の機会を設けています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		モニタリング前に要望（本人・保護者）を確認し、個別支援計画に盛り込んでいます。	

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8		モニタリングにて支援内容の説明を行うとともに、個別支援計画作成後改めて説明し同意をいただいています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		保護者様からの相談等があった際には、お話を聞き必要時には助言を行っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6	2	保護者会はありませんが、サロンや行事で家族間の交流が図れる場を設けています。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		苦情解決のフローチャートに従い、対応をしています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8		毎月、事業所だよりを発行して活動の様子をお伝えしています。行事の様子についてホームページに様子を掲載しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		個人情報の取扱いについては、マニュアルに沿って対応をしています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		情報の伝達が適切に行えるよう、必要時は視覚支援を活用する等、配慮を行い対応しています。	
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	3	行事に地域住民を招待することはありませんが、おもちゃ図書館の解放を行い、地域住民に利用していただいています。	
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		定期的に見直しを行い、各種マニュアルの整備を行っています。毎月の防災訓練を実施しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		毎月各災害を想定した防災訓練を実施します。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8		服薬やてんかん発作時の対応については、定期的に保護者様と確認を行うとともに、服薬変更等があった際には情報共有を行い様子観察をしています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	2	現在、食物アレルギーの利用者がいないため該当していません。また、食事、おやつ場面では安全に配慮して支援を行っています。誤飲などの緊急時のマニュアルも整備しています。	アレルギーの利用者様の受け入れがあった際には、留意点や対応について情報共有を行います。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		安全計画に基づき、毎月点検や環境整備、避難訓練を実施しています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8		安全計画を作成し、取り組みについて説明しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		打ち合わせ時などで、その都度報告し再発防止策を検討しています。	
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		虐待防止研修への参加や人権侵害自己チェック表の提出をしています。		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8		現在、身体拘束の同意が必要とされる児童はおりませんが、児童の行動特性については、毎月の事業所会議の中で検討を重ねています。		